

# 平成24年度第1回倫理委員会議事録

開催年月日：平成24年4月12日(木) 17時30分～18時05分

出席者：鈴木副院長、高橋豊副院長、高橋テル子副院長、縄手小児科医長、篠原薬剤科長、  
小林耳鼻咽喉科部長、石井耕教授、五十嵐事務部長、総務課長

欠席者：斎藤ユキ子氏

受付番号24-01

課題名：「再発危険因子を有するStage I i大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究」

(議事要旨)

1) 研究の目的等を小池部長より説明。

大腸癌のStage IIに対しては決まった補助化学療法はない。しかし、Stage II大腸癌の5年生存率は本邦では81%であり、補助化学療法の必要性が指摘されている。さらにStage II大腸癌中でも腸閉塞例や穿孔例・低分化または未分化腺癌例・T4症例など高危険群と考えられているものがあり、UFT/LV療法を施行してこの有効性を検討したいので、審査を希望する。

2) 委員より質疑応答及び協議内容

- ・ T S Iは、どうなのか？
- ・ T S Iは、認知度が米国・欧米では低い。UFT/LVは、世界で多く使われ世界に通用するエビデンスを作りたい。

協議結果：「再発危険因子を有するStage I i大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究」は、患者さんに対するI Cを充分注意していただくことで承認とする。

受付番号23-08

課題名：「ミルタザピンの進行がん患者を対象とした前向き観察研究」

(議事要旨)

1) 近藤先生から研究延長の申出があったので、迅速審査した結果、延長期間を入れて再度提出してもらい承認する。

受付番号23-21

課題名：「転移性乳がんに対するweekly nanoparticle albumin-bound paclitaxelの安全性確認試験」

(議事要旨)

1) 研究の目的等を田村部長より説明。

治療については、終っていた。ただ、保険診療の問題でペンディングになっていて、社会保険支払基金の先生に確認したところ相当猶予の中であれば良いのではないかとご意見を他の病院の先生が聞いたということで、様子を見て判断することだった。

協議結果：「非小細胞肺癌臨床検体からの多発癌関連遺伝子の検出研究」は、承認する。

以上